



# 山梨大学大学院

教育学研究科 教育実践創成専攻  
(教職大学院)

新しい **教職大学院** が始まります



UNIVERSITY  
OF  
YAMANASHI



# 新しく変わる教職大学院

山梨大学大学院 教育学研究科(教職大学院)教育実践創成専攻

定員：38名（現職教員：14名・一般：24名）

## 教育実践開発コース

地域や学校の課題に即した学校改善・学級改善・授業改善を構想し実践する力、及び教育実践をリードする力を高め、将来管理職となる者も含め地域や学校において中核的・指導的な役割を果たせる教員を育成する。

### 学校マネジメント分野

学校経営と組織マネジメントに関する高度な専門的力量的習得により、地域に根ざした学校づくりをリードする教員を育成する。

### 教師力育成分野

学校現場が抱える様々な課題を解決する力を持ち、カリキュラム開発、教育臨床（生徒指導・教育相談）、異校種間の連携、地域との連携を実践する力を持つ教員を育成する。

## 教科領域実践開発コース

教科の目的・内容に対する深い理解と、それぞれの教科における専門領域の詳細を学びながら、教科内容の各分野が有機的に連携した教科教育を実践する力を持ち、児童生徒の発達段階に応じて、各教科の授業を適切に構想し、効果的な授業実践することができる教員を育成する。

### 初等教科教育分野

小学校の各教科（国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、家庭、体育、外国語）について、質の高い教材研究をもとにした高度な授業実践力を持つ教員を育成する。

### 中等教科教育分野

中学校、高等学校の各教科（中学校の教科をベースに、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語、書道、工芸）について、質の高い教材研究をもとにした高度な授業実践力を持つ教員を育成する。

# 教育実践創成専攻 授業科目体系

## 教育実践開発コース

## 教科領域実践開発コース

学校マネジメント  
分野

教師力育成分野

初等教科教育分野

中等教科教育分野

教育課程の編成・実施に関する領域

『教育課程の内容と編成』

『初等教科横断型・総合型  
プロジェクト実践論』

『中等教科横断型・総合型  
プロジェクト実践論』

教科等の実践的な指導方法に関する領域

『道徳教育の理論と実践』

『授業研究マネジメント論』

『情報教育・ICT活用  
の理論と実践』

生徒指導・教育相談に関する領域

『発達障害児の心理』

『教育相談・生徒指導論』

学級・学校経営に関する領域

『学校安全と危機管理』

『学校・学級文化の創造と学級経営』

『学校組織経営論』

『教育法規と  
コンプライアンス』

『学校改善論』

学校教育と教員の在り方に関する領域

『現代学校・教師論』

教育実践研究に関する領域(独自領域)

『教育・地域課題挑戦プロジェクト実践論』

『山梨の学校改革』  
『教育政策の理論と実践』  
『特別の教育課程』  
『小学校における接続期カリキュラムの実践と課題』

『国語科の本質と目標・内容構成』 『英語科の本質と目標・内容構成』  
『社会科の本質と目標・内容構成』 『数学科の本質と目標・内容構成』  
『理科の本質と目標・内容構成』  
『家庭科の本質と目標・内容構成』 『音楽科の本質と目標・内容構成』  
『図画工作科・美術科の本質と目標・内容構成』  
『体育科・保健体育科の本質と目標・内容構成』

『授業研究マネジメント論』 『学校安全と危機管理』  
『学校・学級文化の創造と  
学級経営』 『子どもエンパワーメント論』  
『エビデンスに基づく教育  
支援』 『インクルーシブ教育』  
『情報教育・ICT活用の理論  
と実践』 『障害児の指導法』

『初等国語科の教材研究と授業構想』 『技術科の本質と目標・内容構成』  
『初等英語科の教材研究と授業構想』 『中等国語科の教材研究と授業構想』  
『初等社会科の教材研究と授業構想』 『中等英語科の教材研究と授業構想』  
『初等数学科の教材研究と授業構想』 『中等社会科の教材研究と授業構想』  
『初等理科の教材研究と授業構想』 『中等数学科の教材研究と授業構想』  
『初等家庭科の教材研究と授業構想』 『中等理科の教材研究と授業構想』  
『初等音楽科の教材研究と授業構想』 『中等技術科の教材研究と授業構想』  
『初等図画工作科の教材研究と授業構想』 『中等家庭科の教材研究と授業構想』  
『初等体育科の教材研究と授業構想』 『中等音楽科の教材研究と授業構想』  
『中等図画工作科の教材研究と授業構想』  
『中等体育科の教材研究と授業構想』

『課題研究Ⅰ』  
『課題研究Ⅱ』  
『実習Ⅰ  
(課題発見実習)』  
『実習Ⅱ  
(課題達成実習)』

『課題研究Ⅰ』, 『課題研究Ⅱ』, 『課題研究Ⅲ』  
『小学校実習Ⅰ(課題発見実習)』又は  
『中・高等学校実習Ⅰ(課題発見実習)』  
『小学校実習Ⅱ(課題達成実習)』又は  
『中・高等学校実習Ⅱ(課題達成実習)』

【必要単位数】

課題研究(必修) : 6単位  
(学校マネジメント分野は4単位)  
実習(必修) : 10単位

共通科目【必要単位数：18単位】

選択科目【必要単位数：12単位】

(学校マネジメント分野は14単位)

課題研究・実習

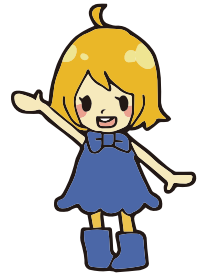
# 教職大学院 Q&A

## Q1

### 教職大学院って、どんな人が学んでいるの？

ストレートマスターと現職教員の院生と一緒に学んでいます。

学部を卒業して、そのまま教職大学院に進学した院生が「ストレートマスター」です。学校現場で実践経験を積んできた現職教員とストレートマスターが、机を並べて一緒に学んでいます。（教職大学院入学には、入学時点で教員免許状を持っていることが条件です）



## Q2

### 教職大学院って何年間？ どんなことをするの？

教職大学院に2年間在籍し、必要単位を修得することで、「教職修士（専門職）」の学位が取得できます。教職に就く前にきめ細かな指導の下に多くの実践経験を積み、修了時に即対応できる自信を身に付けることができます。教職大学院では、「講義（理論）」と「実習（実践）」のカリキュラムの下で、次のことを学ぶことができます。何と言っても最大の特徴は、「連携協力校」における実習です（1年間 200 時間）。実践力を向上させたい！と思う方は、教職大学院への進学をぜひ検討してみてください。

- ① 実習により教育現場の雰囲気を感じ、生徒指導・学級経営等のあり方等についても実践的に経験を積むことができます。
- ② 実習を通して大学院で学ぶ理論と現場における実践の往還ができます。
- ③ 毎回の実習の後、現職の先生や大学の先生との話し合いから、振り返りや今後活かした検討ができます。
- ④ 授業は少人数での演習、基本的に研究者教員と実務家教員のチーム・ティーチングなので、学校の教育活動についての理論と実践の側面を同時に学ぶことができます。



- ⑤ 現職の先生とともに行動し、教員の仕事についてのノウハウを学び、教育現場の情報を得ることができます。
- ⑥ 校種縦断（小・中・高）、教科横断的な教育のあり方を学ぶことができます。

## Q3 教職大学院に行くとなんなメリットがあるの？

これまでのお話ししたよさが教職大学院の魅力ですが、さらに次のようなメリットがあります。

- ① 修士の学位（教職修士（専門職））を取得できます。
- ② 専修免許状を取得できます。
- ③ 学部4年次、大学院1年次、大学院2年次と3回教員採用試験を受験することができます。しかも、山梨県などの一部の地域では学部4年次、大学院1年次に合格した場合、合格者として登録され大学院を修了するまで採用を猶予してもらえます。
- ④ 教育現場に出ると（本採用でも期間採用でも）、日々の仕事に追われてしまい、教育学的な研究を行うことが難しいと言われる。教職大学院では学生らしい実践的な授業研究にチャレンジができます。
- ⑤ 期間採用で現場に出ると教員採用試験のための勉強をする時間を作るのが難しいのですが、教職大学院では試験への準備を十分に行うことができます。
- ⑥ 教員採用試験の対策について丁寧に指導してもらえます。
- ⑦ 学部卒院生に対して学術研究奨励金の修学支援制度があります。
- ⑧ 教職大学院の行事（県内外の先生方も参加）である「教育実践フォーラム」では、著名な教育研究者が講師として招かれ、教育の最先端の知見を得ることができるとともに、自分の実践研究を発表し、研究成果を世に問うことができます。
- ⑨ 長期履修制度があります。



# 入学試験について

## 出願資格

教育職員免許法（昭和24年法律第147号）に定める普通免許状（二種以上）を有する方または平成31年3月までに取得する見込みの方に限ります。

## 説明会日程

説明会に参加を希望される場合は、右記QRコードから申し込みをお願いします。  
なお、当日参加も可能です。



### 東京会場

日時：平成30年9月23日(日) 13:30～15:30 (13:00～受付開始)

場所：東京リエゾンオフィス（東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター）

### 山梨会場

日時：平成30年 8月1日(水) 13:00～13:30

平成30年10月6日(土) 13:30～15:30 (13:00～受付開始)

場所：山梨大学甲府西キャンパス N-22教室（山梨県甲府市武田4-4-37）

## 入試日程

■出願期間：平成30年10月24日(水)～10月30日(火)

■試験日：平成30年11月24日(土)

■合格発表：平成30年11月28日(水)

## 取得可能な教員免許状

小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭の一種免許状を有する方は、本研究科において教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得することにより、それぞれに対応する専修免許状を取得することができます。詳細は次のとおりです。

●小学校教諭専修免許状

●中学校教諭専修免許状「国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語」

●高等学校教諭専修免許状「国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・工芸・保健体育・家庭・英語・書道」

## 大学院設置基準に定める教育方法の特例措置について

- ① 特例措置の適用を認定された方は、修業年限の前半1年間を研究科における研究と授業に専念します。この期間における履修単位は、22単位以上とします。
- ② 後半の1年間は、在職校においてその勤務と教育実践研究とを並行し、研究科の指定した日に登校して研究指導を受けるとともに、定められた科目の単位の履修を行います。
- ③ 特例による授業は、現職教員の勤務様態を勘案し、平日においては、夜間の授業時間（18時10分～19時40分）を開設、また、長期休業期間においては、集中講義等を開設します。

問い合わせ先

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37 山梨大学教育学域支援課教務グループ

電話：055-220-3782 E-mail：e-kyoumu@yamanashi.ac.jp

改組手続中のため予定であり、記載内容は変更となる場合があります。